



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和63年(1988)5月23日
 事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
 TEL. (06) 6244-1008 FAX. (06) 6244-1010
 WEB. <http://sembarotary.club> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
 例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244-1111
 会長 林 拓 幹事 山川良知 会報広報委員長 大島 弥生



大阪船場 ロータリークラブ

四つのテスト／言行はこれに照してから I. 真実かどうか II. みんなに公平か III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1523回 例会 2024年(令和6年)1月22日 (職業奉仕月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 野田 寿美子 副SAA)

- ロ-タリ-ソング 「船場ソング」
- 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告
- 卓 話 「ふぐ調理師免許は業務独占資格なの？」 中西 弘明 会員
- IM委員長会議 4階「藤の間」 11:30～

前回(1月15日) 例会記録

◇プログレス 清水 清一 副SAA

- ・冬景色
- ・ふじの山
- ・雪の華

1. 1月お誕生月会員お祝い

- 大嶋 捷正 会員 (1月 1日)
- 平山 明彦 会員 (1月 2日)
- 井澤 武尚 会員 (1月 4日)



2. 会長の時間 「お正月旅行と為替」 林 拓 会長

皆様、新年あけましておめでとうございます。残り半分、本年もどうぞよろしくお願ひ致します。また1月は職業奉仕月間です。月間にふさわしい行動をお願ひ致します。

皆様はどのようなお正月をお過ごしでしたでしょうか？元旦には能登半島地震が発生し、その救援物資を搬送する海上保安庁の機体が乗客を乗せて着陸するJAL機と接触事故を起こし炎上。幸いなことに民間人に死者が出ませんでした。

大変な年明けとなりました。

そんな折、私と家族は不謹慎ですが、何も知らずに30日からハワイでお正月を過ごしておりました。最近、ハワイに行かれた方に聞いてはありましたが、向こうで過ごし始めて感じることは物価の高さです。4人家族で過ごしていると、\$100 札は

世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD

湯水のごとく無くなっていきます。朝食昼食は普通のレストラン、4人で\$100~150、ノースショアでトレーラーハウスのようなところで販売しているガーリックシュリンプとライスのセットとミネラルウォーターそれぞれ4つ買って128ドル、夕食に至ってはレストランのランクにもよりますが、4人で\$800~1800 ぐらいの支払でした。レンタカーをホテルのパーキングに停めると一泊\$65、コンビニでも\$50~100 はすぐに使ってしまいます。比較的安く感じたのはウーバーのタクシー代ぐらいでしょうか。なぜこのような状態になっているのか、為替レートには実質為替レートと名目為替レートが存在するのはご承知おきだと思いますが、日本円の実質為替レートが最も円高だったのはアメリカがデフレにあえぐ1995年でした。日本円実質為替レートはこれを境にひたすらデフレと円安を30年間もたどることになります。東大の伊藤元重名誉教授が新聞のコラムに書かれていましたが、95年の日本円を100と換算すると現在の日本円は37.3という数値になるそうで、30年弱で実に日本円は60%以上もの価値を落としたこととなります。1ドル110円前後だった2021年4月の実質為替レートは95年対比で約50%です。今後、円が110円まで円高になったとて、日本円の購買力はピーク時の半分でしかない。この間、アメリカは20年に渡って賃金と物価が毎年2%上昇を続けている。名目為替レートは金利差で110円程度まで戻すこともあるかもしれませんが、20年間2%の差を埋めるのは容易なことではありません。

さて少しハワイに戻りますが、ワイキキ、カラカウア通りのど真ん中にKEITHというファッションブランドのお店があります。イギリステイストのファッションを現代風にアレンジしたシンガポール発のブランドです。店前はいつも入場制限でお客が溢れていました。その何軒か隣にはKOHOというチョコレートショップがあります。さらにその数件隣にはチーズケーキファクトリーに大行列です。私たちの世代はハワイのお土産と言えばハワイアンホストだったのですが、今やメインはKOHOでお土産店でも常に良い場所に置かれています。

日本は今後、産業構造そのものを変革するような、痛みを伴う大改革を行わなければ、この負のスパイラルから抜け出すことはできないと感じたお正月でした。

3. 幹事報告 山川 良知 幹事

1月1日に発生した能登半島地震につき、該当地区の国際ロータリー第2610地区から支援金の要請が来ております。これに対し、理事会で、被害の甚大さ等を考慮し、個人預り金から1人2,000円を支出するとともに、来週の例会時に募金箱を設置し、寄付を募ることを決定いたしました。どうか皆さまの温かい積極的なご支援・ご協力をお願いいたします。

4. ニコニコ報告 藤井 宏明 親睦委員

林 会員……会長年度が始まってようやく半年が過ぎました。残り半年、どうぞ宜しくお願いいたします。

澤田 会員……あけましておめでとうございます。本年IMロータリーデー皆さん宜しくお願いいたします。

竹内 会員……本年Man of the yearです。よろしくお願いたします。

甚田 会員……今年も宜しくお願いいたします。84才の年よりに宜しく。

大久保 会員……あけましておめでとうございます。

野田 会員……新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。

大嶋、塩尻、片岡、松村、岡本(真)、天野、北野、新川、中村、洪、藤井、俣野、原山、坂本、清水、伊藤、岡野、中井、山川、篠藤、中嶋、小山、平山、岡本(茂)、小島、大島、宮原、

各会員……新年明けましておめでとうございます 本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

大嶋、平山、井澤、各会員……1月お誕生月

甚田、林、宮原、大嶋、各会員……1月創立記念日

5. 出席報告 清水 清一 SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 37名 出席会員数 35名(オンラインなし) 出席率 95%

第1520回(12月4日) 修正出席率 100%

☆☆☆ 新年会員懇親会 ☆☆☆

令和6年1月15日(月) 於:セントレジスホテル大阪 18:00~20:00

司会 中井 崇 親睦委員長

- ◎挨拶 林 拓 会長
- ◎乾杯 片岡 清夫 会員
- ◎閉会挨拶 藤井 宏明 副会長
- ◎手に手つないで



新年会員懇親会がセントレジスホテルで開催されました。参加人数は会員35名と事務局の36名でした。林会長のご挨拶、片岡会員の乾杯で賑やかに始まり、大いに親睦を深めました。多数の会員の新年のご挨拶、藤井副会長の閉会のご挨拶のあと、「手に手つないで」を歌ってお開きになりました。

新年放談

◎ 俣野 富美雄 会員



私は1940年生まれ、今年辰年の7巡目で84才となります。これから先どこまで寿命があるか判りませんが、これまでの人生を振り返ってみて人との不思議な縁、出会いについて感じたことを述べたいと思います。昨年のNHK朝ドラ「らんまん」において植物学者を演じた牧野万太郎が放送最終回で言った言葉「お世話になった多くの人と出会えたことが奇跡です」に感銘を受けました。

私は平凡に生きてきた人生だと思っていますが、やはり節目があったと思います。

1. タオル業を商う家に生まれた。
2. 小中学校は地元豊中だが、なぜか高校進学が関西学院高等部だった。
3. 関西学院大学進学時にアメリカンフットボール部に誘われ入部している。
4. タオル卸売業 日織商工株式会社入社 61年目になる。
5. 50才の時に大阪船場ロータリークラブ入会 紹介者 2代目会長平田昭夫氏。
6. 60才の時に茨木カンツリー倶楽部入社、改めてゴルフの奥深さをしる。
7. 70才代になり箕面船場団地で北大阪急行線延伸に伴い街づくりに関わる。

以上の事柄は人生の転換点だったと思っています。

人との縁の不思議さは昨年11月に起きました。私の長女の婿が青森県に赴任しています。恐山の近く。訪問の旅程を組んだが諸事情があり断念せざるを得なかった。その代わりに13年振りとなる能登半島、輪島市、珠洲市を3泊4日で旅行。輪島市河井町朝市通りにある輪島塗りのお店訪問し、漆器の茶道具など数点 買い求めました。85才になられる当主ご夫妻(小学校の同級生とか)と旧交を温めることができ、大阪から車でわざわざ訪ねてもらったと大変喜んで頂きました。ところが今年1月1日の能登半島地震、悲しいことにご夫妻とも未だ安否不明です。2ヶ月前にご夫妻に会えたことは、今となっては不思議な出会いであったとしか思えないのです。再会できますことを念じております。出会えたことが奇跡です を実感している次第です。

◎ 洪 理恵 会員



明けまして おめでとうございます。

辰年、年女ということで大晦日からワクワクとした気持ちで年越しを迎えておりましたが、心が痛むことが起こってしまいました。

能登地震で犠牲となられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。被災地域の日も早い復興を心よりお祈りします。

辰年は十二支の中で唯一架空の生物です。一説によると、1970年に中国で架空動物の「辰」は非化学的でふさわしくない！という理由から「熊猫年」へと置き換えられたのだとか。その後は元に戻され今に至りますが、もしそのままだったら今年の年賀状にはパンダの絵が溢れていたことでしょう。個人的には干支の中で龍が一番格好いいと思っているので「辰」のままで良かったと思いました。龍は天に昇るイメージがあり、辰という字は草木が成長し、形が整った状態を表すとされていて「動いて伸びる」「整う」という意味があるそうです。ロータリーライフを満喫しながら、ウクレレ同好会も楽しみ、日常を過ごせることに感謝しながら本業においてもパワフルに頑張っていきたいと考えております。今年が、みなさま良い年になりますように。ありがとうございました。

◎ 竹内 弘 会員



明けましておめでとうございます。

本年、4回目の年男を迎えるにあたり、初めて、年男として何かしておいた方が良いことでもあるのか？と、Yahoo 知恵袋で調べてみました。すると、年明け初詣に行ったらやるべきことのベストアンサーは「神社に行って、賽銭を投げ入れる、鈴を鳴らす、2回お辞儀をする、お祈りをする、2回拍手をする、1度お辞儀をする」でした。「普通の参拝と変わらんのかいっ！！」と、突っ込みたい気持ちを抑えながら、過去を振り返って厄年に、厄払いに行った時の宮司さんの言葉を思い出しました。

宮司さんは、厄払いと言葉ではいうものの、そもそも厄年とは、人生の節目に当たる年でその節目の年にそれまでの人生を振り返って、神様に感謝を伝える年なのです。とおっしゃっていました。そういえば、この話を聞いてからは、わが娘にも神社に参拝するときは、お願い事をするのではなく、感謝をしないと教えてきました。年男だから縁起が良いとも言われますが、私なりに、年男も人生の節目として、本年は、神様にも、周りの人たちにもしっかりと感謝を伝えられる年にしたいと、気を引き締めていく所存です。皆様、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

◎ 篠藤 敦子 会員



前回の年女の頃から今までの年月を振り返ると、自分の生活と仕事は大きく変わりました。

生活面では、ふたりの息子が成人し、小学生だった次男もまもなく大学を卒業します。仕事面では、40代に大学や大学院の教員という立場をいただき、実務と理論の融合をはかるきっかけとなりました。

実家が近くにない環境での子育てと仕事の両立は、困難なことも多くあり、甲南大学会計大学院の実務家教員になった40歳から10年ほどの記憶があまりありません。これからその10年を取り戻していきたいと思っています。

「竜の水を得る如し」という言葉があります。竜が水を得て天に昇るように、強いものが更に力を増すという意味で使われることが多いようですが、一方で、「些細なことでも善い行いを積み重ねることで大きな成果を得られる」という意味もあるそうです。私は、勢いをもって事を成すというよりも、周囲との調和の下にコツコツ積み上げるタイプだと思います。

◎ 坂本 田鶴子 会員



みなさま、あけましておめでとうございます。本日は、このような機会を設けていただき、ありがとうございます。私がロータリークラブに入会したのは、2020年の11月なので、早くも3年という月日が経過しました。入会してすぐにコロナの時期でしたので実質活動をはじめてからは、1年半程になります。

おかげさまで、楽しいロータリー生活をおくらせていただいています。

いただいたお役目は、フレッシュロータリアン、増強委員長と、まだ数は少ないのですがいただけましたこと、改めて感謝しております。増強委員長で行かせていただいた地区セミナーでロータリー公共イメージコーディネーターをされている服部陽子さんのお話に感銘をうけ、実は、このことが、ロータリーを好きになる大きなきっかけとなりました。その後、歴史を調べているうちにポールハリスが大好きになり

今回IMでコーディネーターという、恐れ多いのですがお役目をいただきRIのゴードンマッキナリー会長の今されいることを知れば知るほど、ロータリーが大好きになっています。RI 会長のされようとしていることは、本当にすばらしいことで、間違いなく社会貢献になることなので詳細が知りたいかたはいつでもご説明しますので、お声がけください。

こちらは余談になりますが私は、ポールハリスが好きなんだと言ったら、篠藤さんに「理想が高すぎると言われ」「好きになるくらい自由やる！」というひとまぐもありました。

そして、改めまして、今この場所にいること、この年齢になったこと、なんというか、想定外の人生すぎて、なんと表現したらいいかわからないくらいです。私はかつて主婦をしていたのですが、その頃のわたしとは別人になっておりもはや前世の記憶のように感じています。人生のシナリオは、生まれてくる前に自分で大まか決めてくる、という話もあります。

こちらは、林会長が紹介されていた「生きがいの創造」に書いてあるので、興味のある方はお読みください。

いずれにせよ、自分がどんなシナリオを描いてきたかももちろん覚えてはいないのですが「これから、私は、一体全体どんな人生を歩いていくのか？」楽しみでもあり、ドキドキでもあります。

ただ一つ言えるのは、「私の人生はこれからが本番」ということです。この年齢でそんなことを言うのは私くらいだと思いますがこれは仕方がないので、私は私らしく、これからも人生を歩んでいきます。「終わりよければ、すべてよし」という言葉もあります。最後の10年が満足するものだったらいい、と思っています。これから、仕事にプライベートに人生を謳歌していきます。みなさま、今後ともよろしくお願ひいたします。

◎ 中井 崇 会員



干支の順番の話を見せて頂きたいと思います。

神様が動物たちにレースをさせて、元旦に神様のもとに到着した順番が干支の順番になったというお話があります。私は昔からこの干支の順番に関して疑問に思っていることがあります。

「なんで龍が5位やねん…」

絵画などから推察するに、龍の全長は短いものでも2~30m、空を駆ける速度は時速300km/は下らないでしょう。普通に実力を発揮すれば圧倒的優勝候補で、そもそも他の一般動物と並んでエントリーしていること自体どうかと思うレベルです。勤勉な牛やずる賢いネズミに先を越されたのは仕方がないにしても、跳ねる以外取り柄がなさそうなウサギにも負け、すぐ後ろの6位には同じニョロロン族の蛇が追っているという有様です。

文献を調べていたところ、この点について一つのヒントが見つかりました。なぜ猪が最下位である12位なのかについて書かれたものです。この文献によると、猪は誰よりも早く神様の前に到着したのですが、猪突猛進の言葉どおり神様の前をあっという間に通過してしまい、しかも前にしか進めずバックが苦手なため、なかなか戻ってこれず最下位に終わったということです。そうすると、このレースはゴール地点を通過すればOKではなく、神様の前でピタ止めしなければならないタイプのゴールだったことがわかります。全長が長い龍にとっては難しいレースだったかもしれません。

そういう事情であれば5位でも仕方がないのですが、残念な噂があります。実は龍と蛇は同時にゴールしたものの、龍を尊敬する蛇が5位を譲ったというものです。あれだけのポテンシャルを持つ者が1位になれなかった以上、5位も6位も似たようなものであり、自分よりも丈の短い蛇の健闘を称えて順位を譲るといのが、大人としてあるべき振舞ではないでしょうか。

よく辰年に関して「昇り龍だ」「スケールが大きい」とか言われますが、それは多分に見た目からくる世間のイメージであり、実態としては残念ながら先ほど申し上げたとおりですので、あまり過度の期待はされない方がよろしいかと思えます。これからも、お世話になっている方々、家族、そして自分自身の人生が豊かになるように、善い行いを積み重ねて参ります。

◎ 山川 良知 会員



新年おめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

さて、本日の放談では、今年の抱負を述べたいと思います。今年の抱負は、ズバリ「家内安全」です。但し、この「家内安全」には二つの意味があります。

一つ目は、通常の意味どおりで、家族が安泰で厄災がなく健康で過ごせることです。

私共夫婦には3人の息子がおりますが、昨年3月に三男夫婦に子供が生まれ、初孫ができました。そして嬉しいことに、今年の2月には二男夫婦に、7月には長男夫婦に子供が産まれる予定であり、合計3人の孫に恵まれることとなります。また、息子夫婦の全員に子供ができることとなります。このように、今年は非常にめでたい年になりますので、山川家の家族全員が「家内安全」に過ごせるように切に願っております。

二つ目は、ご承知のとおり元旦の夕方に能登半島で大きな地震があり、翌日夕方には日航機と海上保安庁機とが衝突する事故がありました。我が家でも2日の夜、私が地雷を踏んで妻の激怒を巻き起こす事件が起こりました。

2日に友人夫婦とその子供・孫が我が家に来てくれて、お節料理を食べたりしながら団らんの時間を楽しく過ごしていたのですが、私が調子に乗って日本酒を飲み過ぎて、酷く酔っ払ってしまい、友人夫婦達が帰った後に、妻に対して、余計なことを言ってしまい、激怒させてしまいました。怒った妻は、丸一日半、寝室から出て来ませんでした。その後、仲直りはしましたが、日本酒はもう飲むなと禁止されてしまいました・・・また、6日には串カツ屋に行ったのですが、生ビールを注文したら妻に睨まれ、慌ててウーロン茶に訂正するという出来事もありました。ずっと針の筵に座らされているような感じでした。

先週末の土日(13日、14日)に淡路島の温泉に行きましたが、顔色を窺いながらビールに手を伸ばすと、妻は何も言いませんでしたので、どうやらビールは許してもらえたようです。しかし、日本酒は聞いてみる勇気がなく、日本酒の「に」の字も口に出来ておりません。

このように、新年早々、酒に酔って不用意に地雷を踏んで(俗に言う「やらかした」)息が詰まるような日々を過ごしましたが、これを教訓に、今年は、飲み過ぎや、要らないことを言わないように充分気を付けて、「家内(からの)安全」に努めたいと思います。





1月度理事会報告

令和6年1月15日(月) 於:セントレジスホテル 16:40~17:20

【承認事項】

1. 12月度会計報告 承認
2. 後期米山普通寄付金について ¥3,000×38名=114,000 承認
3. 後期地区運営資金について ¥8,500×38名=323,000 承認
4. 2024年1月能登半島地震支援金について 承認
5. クラブ内規集など整備について 承認
6. 計画書、報告書の内容入れ替えについて 承認
7. 24-25年度副幹事承認の件 承認

☆次回1月29日(月)例会予定
・職業奉仕フォーラム ~14:00



